



たまねぎ



発行日：令和5年8月8日

1. 卸売価格の動向

○125 円/kg（8月5日）

➤ 平年比：100%

○8月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○243 円/kg（7月全国平均）

➤ 前月比：106%、平年比：98%

➤ 東京：239 円（3玉）

➤ 大阪：198 円（3玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：9/20（前月9/20）

➤ 大阪：6/10（前月7/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○389g/人（6月全国平均）

➤ 前月比：85%

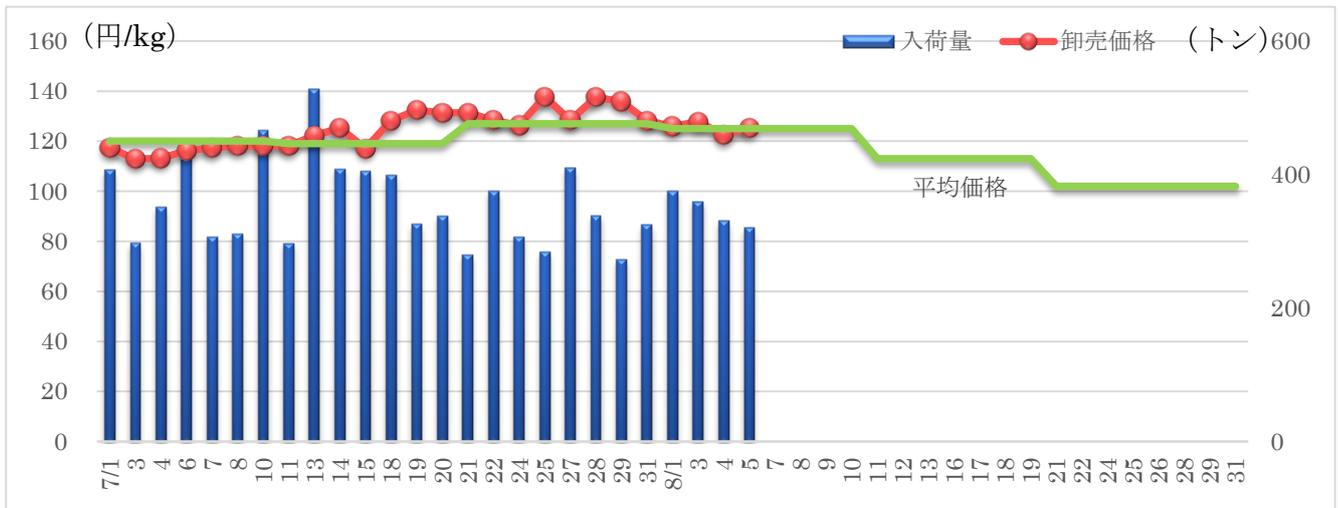
➤ 前年同月比：107%

○5,037g/人（2022年年間）

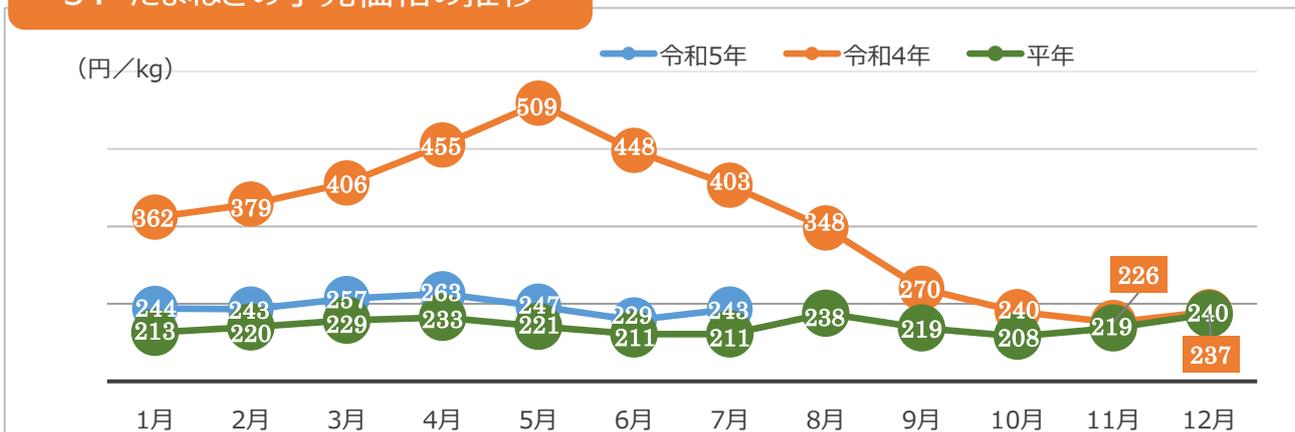
➤ 前年比：88%

（総務省統計局家計調査）

4. たまねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. たまねぎの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道岩見沢市 (7/25)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県碧南市 (5/18)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
兵庫県淡路島 (5/17)	前年並み	平年並み	早い	平年並み
香川県三豊 (5/29)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
愛媛県西条市 (5/29)	前年並み	平年並み	やや遅い	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



北海道岩見沢市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/05~9/01)

週別の天候				
8/05~8/11	北日本では、天気は数日の周期で変わってでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、台風第6号や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/12~8/18	北日本では、天気は数日の周期で変わってでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/19~9/01	北日本では、天気は数日の周期で変わってでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並20 高 70% 高い見込み	少30 並30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高 60% 高い見込み	少 40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高 60% 高い見込み	少30 並30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮たまねぎ)

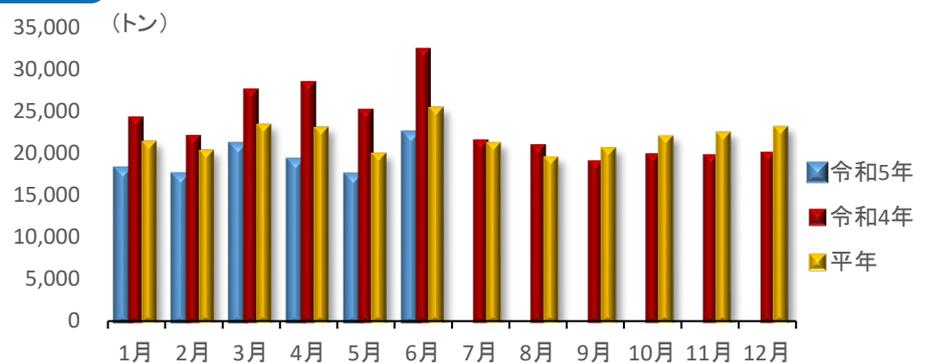
○22,149 t (6月輸入量)

➤ 前年同月比：69%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 20,807トン
- 2位 NZ 1,012トン
- 3位 オーストラリア 330トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、終盤の佐賀産は豪雨等の影響で入荷量が減少したものの、入荷最盛期を迎えた兵庫産が安定して入荷量を伸ばしたことから、価格はほぼ平年並みとなりました。

8月は、兵庫産などがこれまでの前進傾向で入荷が落ち着くものの、後続の北海道産も生育が前進傾向で入荷量が安定することから、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793